

季刊せいてん no.135

2021 夏の号

●浄土真宗聖典の学習誌●

特集

深掘り歎異抄 その1

—『いつでも歎異抄』刊行記念—



00

1

『歎異抄』って？

B1

なぜ唯円？

B2

大切な証文

B3

悪人正機

B4

第四条

B5

後序

B6

B7

B8



江戸時代の庶民的な仏教書とお説教／近世中期の勸化本(一) 幸せてなんだろう／鬼滅の刃
『唯信鈔文意』／関東の混乱と宗祖 『蓮如上人御一代記聞書』／浄土真宗の信心

No.135

季刊

せいてん

2021.6.1(夏の号)

特集

深掘り歎異抄 ① —『いつでも歎異抄』刊行記念—

- 「新しい訳文へのチャレンジ」…………… 井上見淳 3
「私の中の親鸞さまと唯円さん」…………… 一ノ瀬かおる 5
「1F『歎異抄』って、どんな書物？」他…………… 編集室 44

はじめの一步Ⅰ

江戸時代の庶民的な仏教書とお説教④

- 近世中期の勸化本(一)…………… 和田恭幸 9

はじめの一步Ⅱ

幸せってなんだろう—悪人正機の倫理学—⑱

- 永遠と倫理—『鬼滅の刃』の〈悪人正機の倫理学〉流解釈—… 藤丸智雄 16

聖典セミナー

『唯信鈔文意』(終)—関東の混乱と宗祖…………… 安藤光慈 22

せいてん誌上講演

『蓮如上人御一代記聞書』⑥

- 浄土真宗の信心…………… 稲城選惠 30

ほとけのいる景色—アジャンター石窟寺院 ⑩

「小さな侵略者」…………… 打本和音 40

せいてん華道教室 ③

「華道の形—一個の輝き」…………… 弓場洋子 54

法語随想 ②

「〈聞其名号〉といふは、……」…………… 四夷法顕 56

読者のページ せいてん質問箱②

「明治時代、インドとの交流はあった?」…………… 川元恵史 58

人ひとみな 私のお寺づくり②

「SNSは何のため?」…………… 松崎智海 63

一緒に歩こう —親鸞さまの道—① **新連載**

「日本浄土教の歴史と親鸞聖人のご誕生」… 仏教音楽・儀礼研究室 64

文中写真 / 編集室

お読みになる前に…文中に(〇〇頁)とあるのは『註釈版聖典(第二版)』、(七祖〇〇頁)とあるのは『註釈版聖典 七祖篇』のページ数を指しています。

幸せってなんだろう

—悪人正機の倫理学—

第18回「永遠と倫理

—『鬼滅の刃』の〈悪人正機の倫理学〉流解釈—

総合研究所副所長 ふじまる とも お
藤丸 智雄



二〇一六年に「週刊少年ジャンプ」で連載が始まった『鬼滅の刃』(以下、『鬼滅』)。マンガは一億部の売上。映画も、観客動員数が三〇〇〇万人に近づきつつあり、歴史的な大ヒット作品となっています。このマンガは、仏教や浄土教との関係が深いだけでなく、主人公たちの生き方を通して、私たちの倫理観を揺さぶってきます。今号では「悪人正機の倫理学」的視点から、『鬼滅』について独断と偏見に満ちた解釈を行ってみようと思います！

イラスト 瓜生智子



あらすじ

ご存知ない方もいらっしやるでしょうから、まずはあらすじから。

時は大正時代。

この世には多くの鬼たちが跋扈していた。永遠の命を持つ鬼たちは、夜な夜な巷ちまたに姿を現わし、強大な力をもつて多くの人を殺め食らう。主人公は「竈門炭治郎」。家業は炭焼。父を早くに亡くした竈門家の家計を支える炭治郎少年だが、ある日、街に炭を売りに出た間に、一家は鬼に襲われ惨殺されてしまう。たった一人生き残った妹「禰豆子ねずこ」も、鬼の血を浴び鬼と化した。炭治郎は、ただ一人生き残った妹を人間に戻すために「鬼殺隊きさつたい」に入り、鬼との闘いを始める。

念仏を称える「悲鳴嶼行冥」

このマンガは、浄土教との関係を推察させる内容が出てくるので、早くから僧侶界隈で話題となっていました。

まずは本作の要となる「鬼」の存在。鬼は仏典中にしばしば登場しますし、『教行信証』「化身土卷かん」にも鬼に関する記述が見られます。

つづいて『阿弥陀経』と念仏。「悲鳴嶼行冥ひめじまぎょうめい」という登場人物がいます。鬼と闘う「鬼殺隊」は、厳しい修行によって戦闘力を上げていくのですが、特に能力が高い剣士（「柱はしら」と呼ばれる）が九人います。そのうちの「岩柱いわはしら」が悲鳴嶼行冥です。彼の着ている羽織の両襟には「南無阿弥陀仏」と書かれ、手には

念珠。お念仏を称えながら活躍し、時々『阿弥陀経』を誦誦します。

その他にも、「報恩謝徳ほうおんしゃとく」という言葉が出てきたり、藤の花が重要な意味を持つていたり（これは寺紋に「下り藤さか」を用いる本願寺目線の解釈になってしまいましたが…）します。こんな感じで、仏教とりわけ浄土教との関係を感じさせる内容が、あちこちにあります。

さて、ここからは「悪人正機の倫理学」的視点から、勝手に『鬼滅』の謎を解いていきたいと思います。

なぜ、「無惨」の血が必要なのか

『鬼滅』では、鬼側の総大将である鬼舞辻無惨きぶつじむざん（以下、無惨）から血をもらうことによって鬼が誕生します。ゾンビや吸血鬼の映画に慣れている



ると見逃しがちですが、仏典に登場する鬼たち、あるいは日本の物語に登場する鬼たちが、人間から変化することは多くありません。特に仏教的には「輪廻^{りんね}」して鬼になるので、生まれつき鬼なのです。

では絶対、人間から鬼に変化することはないのでしょいか。ここで現代のウイルス感染という事態と重なり合います。人間を含め多くの生物は、長大な時間をかけて遺伝子に微細な変化が生じ、ゆつくりと進化してきました。ただ、例外的に短時間のうちに能力が変化する場合があります。ウイルスによって遺伝子が運ばれてきて、体に影響を及ぼす場合です。ウイルスは短い遺伝子の断片を私たちの体の細胞に入れて増殖し、様々な影響を与えます。現在の新型コロナウイルスは、死をもたらずこ

とのある害のあるものですが、良いはたらきをするウイルスもあります。人間のゲノム（遺伝情報）の中には、ファミリーと呼ばれる同じウイルスを祖先とするものがあります。そのうちの一つは、お母さんのお腹にいる胎児の血管とお母さんの血管とを隔てる構造を作ります。そのお陰で、お父さんの遺伝子を受け継ぐ胎児が、異物扱いされ攻撃されることがないのです。

このように、ウイルスによって能力の変化が起きます。無惨の血は、大量の遺伝子を運ぶ力を持つのかも知れません！

いったい誰が鬼になるのか

無惨は、人間を片端から鬼にしていくわけではありません。鬼になる

人は、何らかの基準で選ばれているように感じられます。もちろん「強さ」が重要な基準ですが、それだけではないようです。

たとえば「猗窩座^{あかさ}」という鬼の場合。貧しい家に生れた猗窩座は、病身の父の薬代のために、スリを繰り返します。そして何度も捕まり、その度に罪を犯したことを示す墨が体に入れられ、それを悲嘆した父は自ら命を絶ちます。一人ぼっちになった猗窩座は自暴自棄になり喧嘩に明け暮れるのですが、武術を教える道場主に拾われ、救われます。猗窩座は道場主に鍛えられ技を磨くとともに、道場主の体の弱い娘の世話をして恋仲になります。こうして、やつと幸福になる端緒をつかみかけるのですが……道場の成功に嫉妬^{しと}した隣の道場の者によって道場主と娘は毒

季刊せいてん

バックナンバーのご案内 (在庫分)

「プリントオンデマンド(受注生産)版」のご案内

オンデマンド版では、これまで売り切れだったバックナンバーも揃いますので(100号以降)、ご要望の多かった梯實圓和上の「せいてん誌上講演〈正信偈〉」(102号~129号)も通してお読みいただけるようになりました。ぜひご利用ください!!

【定価】1,000円+税 【取扱店】Amazon、楽天ブックス、三省堂書店(店頭申込可)

※プリントオンデマンド版は製本仕様が異なります。あらかじめご了承ください。



表紙
●特集「わが家で解決 セルフ質問箱のすすめ」より

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)「顕如と教如(下)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑤(藤丸智雄)「夜空ノムコウ」
- 聖典セミナー
『唯信鈔文意』①(安藤光慈)「他力信心の法義」
- せいてん誌上講演
「正信偈」②(梯實圓)
「善導大師(4)阿弥陀仏に会う」
- もう1人の親鸞⑤
「幽霊の救い」(黒田義道)

122号(春の号)2018年3月1日



表紙写真
●チベット仏教(1)

- はじめの一步I
親鸞聖人の人間像①(山田雅教)「妻がつづった親鸞聖人の素顔」
- はじめの一步II
現代人と宗教①(福永俊哉)「宗教と学問」
- 聖典セミナー
『御文章』①(高田文英)「聖人一流章」
- せいてん誌上講演
「正信偈」①(梯實圓)
「ご恩に報いるために」
- サンカしよう
「讃仏偈」①(若林真人・山口篤子)

102号(春の号)2013年3月1日

127号(夏の号) 2019年6月1日

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)
「善信房親鸞(一)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑩(藤丸智雄)
「(いつの間にか)の倫理」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」⑥(安藤光慈)
「誰もえらび捨てない救い」
- せいてん誌上講演
「正信偈」⑩(梯實圓)
「法然聖人(3) 回心の内景」
- ほどけのいる景色②
「千年の闇室」(打本和音)



表紙
●特集「ふりかえる 平成の
議論・新説・新発見」より



表紙
●特集「お盆、その前に」より

123号(夏の号) 2018年6月1日

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)
「弁円」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑥(藤丸智雄)
「欲望は悪か」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」②(安藤光慈)
「名号の撰化」
- せいてん誌上講演
「正信偈」②(梯實圓)
「源信和尚(1) 日本浄土教の黎明」
- もう1人の親鸞⑥
「枕石の物語」(黒田義道)

128号(秋の号) 2019年9月1日

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑦(井上見淳)
「善信房親鸞(二)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう①(藤丸智雄)
「不安と倫理」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」⑦(安藤光慈)
「救われるのは誰か」
- せいてん誌上講演
「正信偈」⑦(梯實圓)
「法然聖人(4) 善悪を超えた世界」
- ほどけのいる景色③
「石窟の条件」(打本和音)



表紙
●特集「詳しく学ぶ 二河白道のたとえ」より



表紙
●特集「(名人)たちの聖典」より

124号(秋の号) 2018年9月1日

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)
「金子大楽(上)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑦(藤丸智雄)
「信仰という幸福について」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」③(安藤光慈)
「(自)であらわされる他力」
- せいてん誌上講演
「正信偈」③(梯實圓)
「源信和尚(2) 仏さまに背きながら」
- もう1人の親鸞⑦
「一切経校合」(黒田義道)

129号(冬の号) 2019年12月1日

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)
「善信房親鸞(三)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑩(藤丸智雄)
「(生きがい)から考える善悪」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」⑧(安藤光慈)
「さどりの性質—二種法身」
- せいてん誌上講演
「正信偈」(終)(梯實圓)
「法然聖人(5) 深く信ずる心」
- ほどけのいる景色④
「日本人の見たアジャンター①」(打本和音)



表紙
●特集「[歎異抄]と私」より



表紙
●特集「(空)がわからない」より

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)
「金子大楽(中)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑧(藤丸智雄)
「最大多数の最大幸福(1)」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」④(安藤光慈)
「(今)の救い」
- せいてん誌上講演
「正信偈」④(梯實圓)
「法然聖人(1) 父の遺言を胸に」
- もう1人の親鸞(終)
「親鸞聖人ご臨終の言葉」(黒田義道)

125号(冬の号) 2018年12月1日

130号(春の号) 2020年3月1日

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)
「善信房親鸞(四)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑩(藤丸智雄)
「カレーから考える善悪」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」⑨(安藤光慈)
「めぐまれる信心」
- せいてん誌上講演
「蓮如上人御一代記聞書」①(稲城遼恵)
「めずらしいことを聞かない、説かない」
- ほどけのいる景色⑤
「日本人の見たアジャンター②」(打本和音)



表紙
●特集「とにかくお念仏すること
だ—梯實圓和上礼のぶ」より

◆『季刊せいいてん』バックナンバーのご案内(在庫分)

連載 クローズアップ

《せいいてん誌上講演》「正信偈」

102号~129号

梯 實圓

本願寺の碩学、故・梯實圓和上に
よる「正信偈」の講演録です。
親鸞聖人のみ教えの結晶ともいえる
「正信偈」をやさしくご講演いただい
ています。梯和上の警咳に接している
ような臨場感にぜひふれてください。



*『季刊せいいてん』誌のバックナンバーは部数に限りがございますので、
品切れの場合はご容赦願います。

お申し込み・お問い合わせは

本願寺出版社

☎ 0120-464-583

FAX 075-341-7753

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル

1冊700円(税・送料込)

商品に払込取扱票を同梱しますので、郵便局もしくは
コンビニエンスストアで料金を払い込みください。

季刊せいてん 定期購読のご案内

*本誌を毎号入手していただくために定期購読をお勧めします。

●年間購読料 2,800円 (税・送料込み)

▲年4回 (3・6・9・12の各月) 発行

*1部からでもお求めになれます。

●1部 700円 (税・送料込み)

※同じ号を一括して多部数お申し込みいただいた場合には、部数割引させていただきます。(10部以上10%・50部以上20%)

・お申し込みは↓・

本願寺出版社  0120-464-583 FAX 075-341-7753
よむよ ごわさん
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル <http://hongwanji-shuppan.com/>

編 集 後 記

◆安藤光慈先生の聖典セミナーが最終回となりました。ご文をどこまでも正確に読み、親鸞聖人の意図を正しく読み取っていただく姿勢を学ばせていただきました。安藤先生ありがとうございました。

◆特集で取り上げた『いつでも歎異抄』が大変好評です。編集を担当した私たちとしても大変嬉しく、かつ想像以上の売れ行きに驚いています。『歎異抄』入門に最適の書、「深掘り」の前にぜひご一読ください。(D)

◆「よく知られているけど、謎が多い」。『歎異抄』についてそんなことを考えている時、『論語』の「述べて作らず、信じて古(いにしえ)を好む」という言葉に出会いました。好き勝手に新たに創作するのではなく、古典の大事な言葉や思いを受け継ぐことが大事である、との意です。私たちが唯円の残そうとし

たものを全身全霊をかけて紐解いていくところに、『歎異抄』のさらなる魅力が表れてくるのだと思います。次号では内容をさらに深掘りします。(J)

◆取材をかねて、今回ご紹介した「親鸞さまの道」のコースを歩いてみました。ほんのわずかですが、親鸞聖人が歩かれたであろう道をたどる中、日々のご苦勞を偲ぶとともに、幼い聖人の大いなる決意を感じさせていただきました。そして、歩いて気持ちがいいです!(R)

◆今号より編集に参加させていただきましたことになりました。『季刊せいてん』を〈読む側〉から〈校正する側〉に回りますと、自分が今までいかにもったいない書物の読み方をしていたのか痛感します。普段から1文字1文字を大切に書物を拝読することを心がけていきたいと強く思った次第です。(Y)

|||||||||| 投稿募集 |||

◆本誌に対するご感想やご意見、聖典講座についてのご質問など、ふるってご投稿ください。皆様からのお便りをお待ちしております。
◆あて先は、「〒600-8501 浄土真宗本願寺派総合研究所 季刊せいてん編集室」とご明記ください。
◆お送りいただきました原稿はお返しできません。◆掲載分には記念品をお送りいたします。

季刊せいてん

NO.135 令和3(2021)年6月1日発行

編 集

浄土真宗本願寺派
総合研究所

〒600-8349

京都市下京区堺町92番地

発 行

本願寺出版社

(浄土真宗本願寺派)

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル

本願寺門前町60番地

電話 075-371-4171

本誌記事の無断転載を禁じます。BD.04SH①9-12